

写

# 答 申 書

令和 8 年 3 月 24 日

亀岡市上下水道事業経営審議会



令和8年3月24日

亀岡市長 桂川孝裕様

亀岡市上下水道事業経営審議会

会長 原田禎夫

亀岡市上下水道ビジョンの中間見直しについて（答申）

令和7年9月19日付け、7総経第1074号で諮問のあった標記の事項について、次のとおり答申します。



## 1 はじめに

安全で快適な暮らしを支える本市上下水道事業の持続的な運営を行うため、上下水道における事業運営の指針となる計画として、令和3年度から令和12年度までの10年間の計画期間とした「亀岡市上下水道ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を令和3年3月に策定し、着実な事業推進に取り組まれているところである。

人口減少等に伴う水需要の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、人材の確保の困難などに加えて、近年は、物価の高騰や労務単価及び建設資材価格等の高騰など、ビジョン策定以降、社会経済情勢は大きく変化している。

また、地震や風水害等の激甚化する自然災害への備えや対策、感染症への迅速な対応など、引き続き危機管理を徹底し事業継続できるよう進めていく必要があり、水道・下水道を取り巻く環境はますます厳しさを増している。

このような中、ビジョンの計画期間の前期5年間を終えることから、「亀岡市上下水道ビジョンの中間見直し」について、令和7年9月19日に亀岡市長から諮問を受けた。本審議会として、ビジョン計画期間の前期の取組実績や進捗を踏まえ、後期5年間の事業運営の推進のために3回にわたる審議を重ねた結果を、次のとおり答申する。

## 2 答申

ビジョンの計画期間が10年間と長期にわたることから、社会環境の変化や計画の達成状況などを踏まえ、計画期間の中間にあたる令和7年度末に中間見直しを行うとされている。

ビジョンの策定時に定めた「基本理念」、「目指す将来像」、「基本目標」は維持することとし、ビジョンの中間見直しとして、策定後の社会環境の変化に対応するために「取組事項」や「収支の見直し」について、必要な見直しを行っている。

取組事項の見直しについては、取組事項に設定した取組目標の前期5年間における実績や進捗状況を確認し、課題や達成状況を評価・分析したうえで、今後の取り組みの方向性を定め、必要に応じて目標値の見直しが行われている。

また、収支の見直しの見直しについては、人口推移や水需要の動向、投資計画の変更や、物価高騰や金利の上昇などに関する直近の状況を踏まえ、財政収支の見直しを見直し、今後の財政運営の目指す方向性を再検討している。

それらの見直しの内容は、ビジョン計画期間の後期5年間において、持続的・効果的な事業運営の推進のために必要な見直しであると認められ、妥当であると判断する。

その中で、水道事業における持続可能な経営基盤の強化を図るため、維持管理や投資のための資金が必要であり、今後の財政運営の方向に示されたとおり、ビジョンの後期期間において、適切な水道料金の負担のあり方を本格的に検討することを求めるものである。

なお、今後の事業運営の取り組みにあたり、以下のとおり意見を申し添える。

### 3 意見

#### (1) 水の安定供給

水道管路の重要度や老朽化リスクに応じた計画的な更新や、老朽管の更新に合わせた基幹管路の耐震化については、市民の皆さまの暮らしや経済を守り、社会を支える重要なライフラインとして、引き続き着実な事業の推進に努められたい。

そのためには、安全・安心なおいしい水の安定供給ができるよう、適切に料金改定を行い所要の財源を確保して、着実な更新投資を進める必要がある。

#### (2) 持続可能な経営基盤の確立

収支の見通しにおいては、水道事業、下水道事業ともに厳しい経営状況が予測されている。とりわけ、水道事業の損益の見通しについては、見直し前に比べ後ろ倒しとなったが、依然としてビジョンの後期期間には、赤字になる見込みになっており、令和21年度に資金が枯渇する見込みである。

水道事業の今後の財政運営における水道料金については、事務事業の効率化や維持管理経費の削減などの経営努力を前提としつつ、施設更新に必要な費用の一部を適切に反映させるなど、将来世代に過度に先送りしない適切な料金負担とすることが必要である。

持続可能な経営の確保に向け、ビジョンの後期期間において、適切な料金負担のあり方について本格的な検討が望まれる。

#### (3) 広報の充実

上下水道事業を健全に運営していくためには、上下水道事業の取り組みや経営状況に対する市民の理解を、深めていただくことが重要である。そのためには、広報紙やホームページなどのさまざまな手法を活用した、積極的な情報発信を行う必要がある。

特に、料金改定を検討する際には、事業の必要性や財源の確保、経営状況の見通しなどについて、市民への周知と理解を深めて進められるように広報のさらなる充実が望まれる。

## 亀岡市上下水道事業経営審議会委員名簿、審議経過

### 委員名簿

(五十音順：敬称略)

氏名	選出区分	役職名	備考
安藤 智美	需要家代表	NPO 法人亀岡子育てネットワーク副理事長	
井木 登志雄	学識経験者	税理士	
石山 耐子	需要家代表	公募（亀岡市女性人材登録）	
稲村 智子	需要家代表	亀岡商工会議所女性会会長	
太田 達也	学識経験者	京都市上下水道サービス協会理事	副会長
木村 好孝	公益代表	（福）亀岡市社会福祉協議会会長	
齊藤 昭	学識経験者	元京都市上下水道局水道部担当部長	
原田 禎夫	学識経験者	同志社大学准教授	会長
藤川 義雄	学識経験者	京都先端科学大学教授	
堀田 稔	公益代表	亀岡市自治会連合会幹事（畑野町自治会長）	

### 審議経過

開催日		審議内容
第1回	令和7年9月19日	(1) 諮問「亀岡市上下水道ビジョンの中間見直しについて」 (2) 亀岡市上下水道ビジョン中間見直しの概要について
第2回	令和8年1月27日	(1) 亀岡市上下水道ビジョン中間見直し内容の審議
第3回	令和8年3月24日	(1) 亀岡市上下水道ビジョン（中間見直し版）案の審議 (2) 「亀岡市上下水道ビジョン中間見直し」答申案の調整